



結小だより

- ★自分で学ぶ子
- ★仲よく助け合う子
- ★自分でできたえる子



「きびきび」を土台にして、「ふわふわ」を積もう！

校長 中野 由美

6月19日（水）に、全校ドッジボール大会が行われました。当日は、縦割り班20チームが、6年生のリードのもと、笑顔あふれる時間を過ごすことができました。

当日を迎えるまでに、全校リハーサルが2回ありました。1回目は、無駄な時間が多く、予定通りすべての試合を終えることができませんでした。2回目は、集合や移動が素早くなり、最後まで練習することができました。

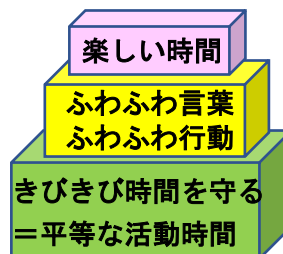
本番前、私は児童に「ドッジボール大会で大切にしたいことは何ですか？」と尋ねました。多くの児童が「時間を意識して行動することです。」と教えてくれました。そこで私は、児童に次のような話をしました。

時間を意識することはとても大切です。それは、どのチームも平等に、同じ回数、同じ時間、試合をすることができるからです。時間を意識することは、全員にとって平等で楽しいドッジボール大会にするための土台です。2回のリハーサルで、みなさんは土台を作り上げました。

本番では、その土台の上に、何を乗せたらいいでしょうか。

児童会では、ドッジボール大会で、「ふわふわ言葉、ふわふわ行動」を大切にしたいと言っていますね。そうです。時間を意識するだけでは足りません。相手を思いやる言葉や行動があって初めて、「本当に楽しい」と思えるドッジボール大会になるのです。

時間を守る行動はきびきび、仲間とかけ合う言葉はふわふわ、「きびきびとふわふわ」、一人一人がこの積み木を積んで、「楽しい」ドッジボール大会にしてほしいです。



当日は、集合や試合の入れ替わり、全体会など、どんな時も時間を意識してきびきび活動する姿がありました。

さらに、ボールを譲り合う姿、低学年にやさしくボールを当てる姿、声を出して応援したり拍手したりする姿など、ふわふわ言葉とふわふわ行動が運動場いっぱいに広がりました。

何かができないといって叱るよりも、行動の意味を伝えることを大切にしています。4月当初は言われた場面ではできないことが多くありましたが、今では時間や仲間への声かけ、集会等での切り替えなど、自分たちで考えてできることがどんどん増えてきています。そんな児童を誇らしく思います。

結ぶ手と手が輪になって ～結小学校の輝き～

親子防災教室

6月7日（金）と6月14日（金）の2日間、親子防災教室を行いました。非常持出し袋の中身を考えたり、避難所で使用する簡易ベッドや簡易トイレを組み立てたり等、学年の発達段階に合わせたメニューで進めました。

災害が起きた時に、何かを「知っている」ということは、不安を軽減し心の安定を生み出します。非常持出し袋には〇〇が入っている、簡易トイレを作ることができる、そう思えることが、災害後の気持ちを前向きにするとされています。

災害はいつ、どこで起きるか分かりません。親子防災教室をきっかけに、ぜひご家庭でも、災害時の行動や事前の準備について話題にさせていただき、児童が「知っている」ことを増やしてあげてください。



芸術鑑賞会



6月26日（水）の午後、体育館に新国立劇場合唱団の歌声が響き渡りました。四部合唱の校歌や「浜辺の歌」、オペラの「椿姫」、ベートーベンの「交響曲第九番」、アニメの主題歌「勇気100%」など、様々なジャンルの曲を聴いたり一緒に歌ったりしました。

本校では、児童が本物に触れる機会をできるだけ多く準備したいと考えています。今回は、事前に鑑賞マナーについても伝えました。物音すら立てずに聴く時と、一緒に楽しむときのメリハリをつけ、盛大に拍手する児童の姿がありました。

不審者対応訓練

6月19日（水）に、校内に不審者が侵入した想定で訓練を行いました。職員は事前に警察の指導を受け、訓練本番に



放課後職員研修

臨みました。児童の命を最優先に、職員自身の命も守れる、そんな学校でありたいと思います。

水泳指導

今年度は3～6年生で2回ずつ、水泳の指導者を招いた授業を行います。6月20日（木）に1回目を行い、水に慣れることや、



息継ぎの基本を練習

泳ぐときの呼吸が楽にできるようにするコツなどを教えていただきました。7月に2回目を予定しています。